

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1473701470
法人名	株式会社サンライフ
事業所名	グループホーム サンライフ青葉
訪問調査日	平成22年9月9日
評価確定日	平成22年10月25日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
外部評価は20項目です。  
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
[取り組みの事実]  
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
[次ステップに向けて期待したい内容]  
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
家族 = 家族に限定しています。  
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 22 年度

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473701470	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	株式会社サンライフ			
事業所名	グループホーム サンライフ青葉			
所在地	( 227-0032 ) 横浜市青葉区成合町4 4 3 - 2			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成22年8月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年12月22日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・外出の機会を多く取り入れる様に心掛け、利用者様の気分転換が出来る様に心掛けている。  
 ・職員は「自分だったらどのように感じるか」をテーマに日々利用者様のケアプランに生かせる様に取組んでいます。

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成22年9月9日	評価機関 評価決定日	平成22年10月25日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴  
 ①経営母体は(株)サンライフで、川崎市の宮前平に設立された有料老人ホームからスタートし、2番目に横須賀市三春町にグループホームとデイサービスの併設施設を、そして3番目にこのサンライフ青葉を展開している。グループホームの理念を「すべての利用者様が楽しく安全で安心した時間を過せるようスタッフ全員で努力する」とし、利用者を中心に据えたケアに重点を置いて展開している。利用者中心と云うことの意味を「自分に置き換えて考える」点に置き、「自分がイヤなことは利用者もイヤ」と端的に考えてケアを進めるようにしている。ここは田園都市線青葉台駅からバスで10分位の新興住宅地の中にあり、近くに進学校で有名な桐蔭学園や寺家ふるさと村があり、川が流れ、周囲の畑や果樹園などが田園地帯の名残を残している。  
 ②地域との関係では、鴨志田地域ケアプラザが地域参加型の「のどか村」を行っており(昼食代のみ必要)、ご利用者数名が参加している。ボランティアの方はハーモニカ、フラメンコ、琴、茶道、沖縄の蛇三線などが月1回程度来てくれている。隣の菜園で収穫も楽しんでいる。横浜市グループホーム連絡会の支部会にも参加している。  
 ③介護計画については、皆で考えた日常記録と介護計画を一体化した新介護計画書を活用している。サービスの目標を定める場合、現場スタッフに現状や今後取り組んでいきたいことを聞き、それを基にしてモニタリングし、新しく計画書を作成している。それに対しご家族のご意見を頂き、現場に活かしている。現在は介護計画と日常記録が同じシートに記載でき、見ながら介護を行え、気付きや変化を書き込み、次期目標に反映出来る事と併せて職員のレベルアップも図れるように工夫されたものを活用している。食事は手作りを原則とし、入居者と一緒に買い物に行き、メニューを決めながら美味しい食事の提供に努めている。涼しくなれば毎朝の散歩は欠かさず、外食を含めた車活用の外出には良く出かけている。

#### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームサンライフ青葉
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	楽しいとは何かを常日頃から教育して、職員からの押し付けにならない様、利用者様とのコミュニケーションから個人個人の趣味嗜好を把握しそれに沿ったお手伝いができるように日々取組んでおります	理念の本質は職員・ご利用者共に同じ目線に立つことである。利用者中心と云うことの意味を「自分に置き換えて考える」点に置き、「自分がイヤなことは利用者もイヤ」と端的に考えてケアを進めるようにしている。楽しいとは何かを常日頃から教育し、職員からの押し付けにならないよう、利用者とのコミュニケーションから個人個人の趣味嗜好を把握しそれに沿った支援ができるように日々取組んでいる。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣商店街への買い物、地域ケアプラザ行事参加、近隣ボランティア様による室内レクリエーションを実施しております。	民生委員のご協力も得て、地域ケアプラザとの協働で地域資源の活用、地域商店の利用などを行い、ご利用者に生活を楽しんで頂ける支援を行っている。鴨志田地域ケアプラザが地域参加型の「のどか村」を行っており（昼食代のみ必要）、ご利用者数名が参加している。児童福祉事業所との交流などを図っている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	あまり出来ていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	夏祭り等のご家族様が来訪される日に民生委員様に連絡をし運営推進委員会を予定していましたが当日予定がつかずに未実施の状態です	昨年度、運営推進会議は昨夏の納涼祭と合わせて開催した。開催回数が少なく、まだ双方向での意見交換まで至っていない。メンバーは民生委員2名が中心でご家族、ホーム関係者で行っている。今年度は夏祭り等のご家族様が来訪される日に民生委員様に連絡をし運営推進委員会を予定したが、当日予定がつかずに未実施におわっている。引き続き開催を企画して行く。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新時等にホームの現状を簡単にお伝えする程度です	行政とは介護保険の更新時等にホームの現状を伝えたり、実地指導等で行政が事業所に来訪された時の意見交換程度である。今後、連携を深めて行きたい。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束に対しての正確な知識がスタッフ間で十分に浸透しているとは思えないが、本人の行動や気持ちを制限する事はいけないこととの認識は十分に認識できていると思われる。当施設での拘束の実施はありません	近所に作業所等があり、不特定な人の往来もあるので、玄関の施錠は防犯上、常時施錠している。但し、庭でのオープンな食事会や畑仕事、随時の外出を行っており、閉塞感は全く感じられない。身体拘束に関しては、拘束における弊害を職員に指導し、充分理解して介護にあたっている。「自分に置き換えて考える」点は徹底出来ている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ間での報告や利用者様からの意見で虐待と感じ取れる行為がないか把握するようにしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	あまり出来ていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には契約者様（ご家族様）と契約書、重要事項説明書、運営規程を読み併せを行い内容の確認をすると同時に、グループホームでは終身の施設にならない現状をお伝えしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画書の更新時にご家族様からの要望をお受けしたり、個別プラン（外出等）の要望をお受けして実施しています	介護計画書の更新時などにご家族様からの要望をお受けしたり、個別プラン（外出等）の要望をお受けしている。要望、苦情等は職員に直接言ってもらえるように配慮している、要望等はカンファレンス等で極力介護計画内容に反映するようにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの外出や企画等の申し出があった場合には実施できるように支援を行っている	職員からの外出や企画等の申し出があった場合には実施できるように支援している。ホームでは何でも言いやすい雰囲気作りに努めており、何を云っても叱ることは控え、意見を吸い上げるようにしている。研修や資格を取りに行きたい人にはホームで費用を半分負担するなど支援して、育成にも力を入れている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間や休日に関しては本人の要望を尊重するようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修リストを掲示し本人が希望する研修を受けられるように支援しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	実施したいが家庭環境等の問題も多く実施できていないのが現状です		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを取り、安心できる場所との認識をして頂けるように取組む事とご家族様にも協力していただける部分は協力していただき、ご本人様が安心できるように取組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントの段階でご家族様の生活についての御要望や入居前にご苦労されていた事をお伺いして入居者様とご家族様が安心して生活できるように取組んでおります		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の生活に極力近づけるようにアセスメント時に話し合い少しでも安心できる生活が送れるように対応を心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護の強要、行事の強制参加をしないよう日々職員への教育を行っています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様にとっては介護の現場は見えない所になり、職員側の言葉の表現のしかたで現状を正確に伝える事が出来なくなる時もあるので、記録の閲覧等自由に行えるようにしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外の友人等にも自由に合えるように支援をしています。ただし事故や事件防止のため契約者様に確認の連絡を取るようになっています	ご家族様以外の友人等については、ご家族に了解を得た上で、自由に接する事が出来るように支援している。基本的には個別ケアを重視し、ご家族の協力を得ながら対応を進めている。今回、長野県へ墓参りに行きたいとの希望をご家族の協力も得て実施の予定で、本人もあと何日と楽しみにしている。墓参りに行く途中でのご家族とのふれあいも大切に今後も協力して行きたい。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に職員が会話に入るために様子を伺うようにし、一人で何もしていない時間帯を作らないように心がけています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談事や出切る範囲でのお手伝いを心がけています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の職員との会話や記録から入居者様の趣味嗜好を把握するように心がけています、また本人らしさを保つ為に必要であれば介護計画書におとすように心がけています	日々の職員との会話や記録から利用者の趣味嗜好を把握するように心がけている。また本人らしさを保つ為に必要であれば介護計画書に反映するように心がけている。「自分に置き換えて考える」を基本としたケアにより個別ケアが実現出来るよう進めている。職員からの企画等の申し出は実施した上で評価、反省、再挑戦をするよう指導している。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時やご家族様からの聞き取りによって把握するように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お手伝いやお散歩、入浴等の日々の行動をみて状態の変化や体調を把握するように努めています		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとにカンファレンスを行い、現状のサービス内容が入居者様に会っているかを検証し、変化があった場合はその対処方法を職員で話し合い、新計画におとすように対応しています	3ヶ月ごとにカンファレンスを行い、現状のサービス内容が入居者様に会っているかを検証し、変化があった場合はその対処方法を職員で話し合い、新計画に反映するようしている。介護計画は最終的に管理者、ケアマネが確認して展開している。カンファレンスでの課題等はご家族に開示し、内容によってはご家族に協力して頂いている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お手伝いをした、しないの記録だけでなく、職員とのやり取りや入居者様の表情が分かるような記録が書ける様に記録を作成しています。またカンファレンス時には日々の記録を参考にしております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	刻み食やパットの使用等、職員があたりまえの介護にならない様にカンファレンス時に職員に問いかけるようにしています。必要性が認められない場合は内容に応じて対応を変えるように心がけています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	楽しみが何かを把握するようにして、外出や外食が気分転換となり生活の刺激になる方には積極的に誘いをしております		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設協力医療機関からの初回往診時にご家族様も同伴いただきご家族様の考えを元に医療方針を決定するようにしております	往診は都筑ふれあいの丘クリニックの医師が2週間に1回来てくれており、入居時に相談はするが、今は全員その往診を受けている。初回受診時に、医師とご家族の面談を設け、ご家族の気持ちや考えを元に医療方針を決定している。看護師は週3日程度出勤してもらっている。医療連携の申請はしていないが、医療の体制は整っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化や表情の変化等に気づいた場合には看護師やホーム長に連絡をする様にしており、迅速に対応できるように取組んでおります		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療相談室との連携を取り、情報交換をすることにより早期退院の提案をしたりしております		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	グループホームは医療機関では無いとの趣旨は十分に説明しておりご家族様も理解されていると思う、ADL等の低下に伴う寝たきり状態に関してはどの介護サービスがご本人にとって一番良いのかをご家族様に判断して頂き、その決定に対して対応できるように心がけます	グループホームは医療機関では無いとの趣旨を十分に説明し、ご家族も理解頂いている。ADL等の低下に伴う寝たきり状態になった場合のケアに関しては、ご家族に、どの介護サービスがご本人にとって一番良いのかを判断頂き、その決定に対して対応できるように取り組んでいる。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師やホーム長への連絡を第一に取るように指示をしており、その都度対応指示を出すようにしております		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラーの工事が11月末に完了予定なのでその後に避難訓練等を予定しています	スプリンクラーの設置工事が11月末に完了予定なのでその後に避難訓練等を予定している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入る際にはノックをする、身体介護の際にはカーテン等の配慮をする等、自分だったらどのように思うかをテーマに日々指導しております	安心できる声掛け等、利用者が気分を害さないように配慮している。お風呂やトイレの同性介助等も希望の方には対応に努めている。人格の尊重、プライバシーについての研修も実施している。居室に入る際にはノックをする、身体介護の際にはカーテン等の配慮をする等、自分だったらどのように思うかをテーマに日々指導し、実践している。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選べる大切さを日々教育しております。入浴の際のお着替えを職員がすべて用意してしまうのではなく、2～3種類の中から選んで頂く等	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の献立や外出先など日々の会話から当日の予定を決めていくようにしております			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	いつも同じ洋服をきたり、昼なのにパジャマを着ていたりすることがない様に指導しております			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、盛り付け、片付けにかかわって頂けるようにお声掛けをおこない、食事も職員と一緒に取るようにしております	独自のメニューで、ご利用者の希望を聞いて、一緒に買い物に行き、冷蔵庫の残り物を確認しながら食事の提供を前提としている。利用者の残存機能を考慮した上で、準備や片付けに参加して頂けるように声掛けしてしている。暖かくお天気のよい日には、庭での食事も実施して食を楽しむ工夫をしている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の確認や食事を職員と一緒に召し上がって頂く事により水分摂取の量の変化や体調の変化に気づけるように心がけています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施しております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表により排泄間隔を把握したり、パット交換時にパットの状態を確認しパットが必要な話し合いをカンファレンス時に議題の一つに上げるように取組んでいます	ご本人が恥ずかしくないように配慮しながらお声掛けを行い、気配があれば誘うことはもちろん、入浴前、朝夕、食事と歯磨きの間などタイミングを見極めて誘導に努めている。排泄表により排泄間隔を把握したり、パット交換時にパットの状態を確認しパットが必要かどうかの話し合いをカンファレンス時の議題の一つにするように取組んでいる。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師と相談のうえ下剤の処方をする場合もあります。 水分摂取に関しては入居者様個別に好きな飲み物を提供するように日々取組んでおります		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	2～3日毎に入浴にお誘いする様に心がけていますが、お誘いの際には無理強いする事のないようにお声掛けをする様に取組んでおります	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回の間隔で入浴を楽しんでもらっている。お風呂も大切であるが、ご本人の気持ちも大切にしよう、職員は考慮しながら対応するよう指導している。足浴は毎日実施しているの、水虫の人はいなくなり清潔に努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝の時間や就寝の時間を強要する事がないように取り組んでおります。 また日中の時間帯で入居者様でお休みされたい時には自由にお休み頂けるように取り組んでおります		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに現時点での処方状況がわかる情報を管理している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のコミュニケーションの中でお手伝いの内容や外出先の選考、入居者様同士の相性等を考慮した席替え等の対応をしております		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様と外出の機会を設けたり、少人数での合同外出等、ホームの外に出れる環境作りの対応を日々心がけています	ご本人やご家族のご要望を取り入れた外出の機会が持てるように取り組んでいる。涼しくなれば、散歩は早朝も含めて、少人数ずつ日に5～6回は出ている。遠出は2ヶ月に1回程度、グループに分けて出かけている。庭で食事したり、お弁当を持って公園で食事する等、王禅寺、APITAなどへも出かけている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持は契約者様との取り決めで個人個人で違います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望される時には自由に電話やお手紙の投函のお手伝いをしております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	臭い、温度等の住環境と身体介助時にはプライバシーの配慮を常に保つように心がけております	イベントの写真や季節感のある工作物を配置し、会話のきっかけになるように工夫して対応に努めている。職員は、写真を見ながら行ったことを思い出すようにご利用者に話しをしている。リビングはホーム内では1つの「公共の場」として認識し、自分の城である居室と差をつけて少しフォーマルな気持ちも大切にすることと併せて、居心地良い場所となるよう工夫している。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の相性や視力、聴力等を考慮した座席の工夫を日々取組んでおります		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたもの、思い入れのあるものを居室に自由に配置してくださいとご家族様やご利用者様にはお伝えしております	使い慣れたものや好みのものはすすんでお持ち頂くよう、ご家族に促している。また、居室内は自由にアレンジして頂いて、ご本人が居心地良く過ごせるように配慮している。リビングの「公共の場」に対し「自分の城」として安心出来るスペースにしてあげたいと考えている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の環境を変化させる事は難しいので今ある環境内でどのような生活リハビリが可能なかは考えるように心がけています		

事業所名	グループホームサンライフ青葉
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	楽しいとは何かを常日頃から教育して、職員からの押し付けにならない様、利用者様とのコミュニケーションから個人個人の趣味嗜好を把握しそれに沿ったお手伝いができるように日々取組んでおります		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣商店街への買い物、地域ケアプラザ行事参加、近隣ボランティア様による室内レクリエーションを実施しております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	あまり出来ていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	夏祭り等のご家族様が来訪される日に民生委員様に連絡をし運営推進委員会を予定していましたが当日予定がつかずに未実施の状態です		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新時等にホームの現状を簡単にお伝えする程度です		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束に対しての正確な知識がスタッフ間で十分に浸透しているとは思えないが、本人の行動や気持ちを制限する事はいけないこととの認識は十分に認識できていると思われる。当施設での拘束の実施はありません		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフ間での報告や利用者様からの意見で虐待と感じ取れる行為がないか把握するようにしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	あまり出来ていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には契約者様（ご家族様）と契約書、重要事項説明書、運営規程を読み併せを行い内容の確認をすると同時に、グループホームでは終身の施設にならない現状をお伝えしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画書の更新時にご家族様からの要望をお受けしたり、個別プラン（外出等）の要望をお受けして実施しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの外出や企画等の申し出があった場合には実施できるように支援を行っている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間や休日に関しては本人の要望を尊重するようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修リストを掲示し本人が希望する研修を受けられるように支援しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	実施したいが家庭環境等の問題も多く実施できていないのが現状です		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを取り、安心できる場所との認識をして頂けるように取組む事とご家族様にも協力していただける部分は協力していただき、ご本人様が安心できるように取組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントの段階でご家族様の生活についての御要望や入居前にご苦労されていた事をお伺いして入居者様とご家族様が安心して生活できるように取組んでおります		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の生活に極力近づけるようにアセスメント時に話し合い少しでも安心できる生活が送れるように対応を心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護の強要、行事の強制参加をしないよう日々職員への教育を行っています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様にとっては介護の現場は見えない所になり、職員側の言葉の表現のしかたで現状を正確に伝える事が出来なくなる時もあるので、記録の閲覧等自由に行えるようにしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外の友人等にも自由に合えるように支援をしています。ただし事故や事件防止のため契約者様に確認の連絡を取るようになっています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に職員が会話に入るために様子を伺うようにし、一人で何もしていない時間帯を作らないように心がけています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談事や出切る範囲でのお手伝いを心がけています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の職員との会話や記録から入居者様の趣味嗜好を把握するように心がけています、また本人らしさを保つ為に必要であれば介護計画書におとすように心がけています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時やご家族様からの聞き取りによって把握するように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お手伝いやお散歩、入浴等の日々の行動をみて状態の変化や体調を把握するように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとにカンファレンスを行い、現状のサービス内容が入居者様に会っているかを検証し、変化があった場合はその対処方法を職員で話し合い、新計画におとすように対応しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お手伝いをした、しないの記録だけでなく、職員とのやり取りや入居者様の表情が分かるような記録が書ける様に記録を作成しています。またカンファレンス時には日々の記録を参考にしております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	刻み食やパットの使用等、職員があたりまえの介護にならない様にカンファレンス時に職員に問いかけるようにしています。必要性が認められない場合は内容に応じて対応を変えるように心がけています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	楽しみが何かを把握するようにして、外出や外食が気分転換となり生活の刺激になる方には積極的に誘いをしております		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設協力医療機関からの初回往診時にご家族様も同伴いただきご家族様の考えを元に医療方針を決定するようにしております		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化や表情の変化等に気づいた場合には看護師やホーム長に連絡をする様にしており、迅速に対応できるように取り組んでおります		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療相談室との連携を取り、情報交換をすることにより早期退院の提案をしたりしております		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	グループホームは医療機関では無いとの趣旨は十分に説明しておりご家族様も理解されていると思う、ADL等の低下に伴う寝たきり状態に関してはどの介護サービスがご本人にとって一番良いのかをご家族様に判断して頂き、その決定に対して対応できるように心がけます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師やホーム長への連絡を第一に取るように指示をしており、その都度対応指示を出すようにしております		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラーの工事が11月末に完了予定なのでその後に避難訓練等を予定しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入る際にはノックをする、身体介護の際にはカーテン等の配慮をする等、自分だったらどのように思うかをテーマに日々指導しております		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選べる大切さを日々教育しております。入浴の際のお着替えを職員がすべて用意してしまうのではなく、2～3種類の中から選んで頂く等		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の献立や外出先など日々の会話から当日の予定を決めていくようにしております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	いつも同じ洋服をきたり、昼なのにパジャマを着ていたりすることがない様に指導しております		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、盛り付け、片付けにかかわって頂けるようにお声掛けをおこない、食事も職員と一緒に取るようにしております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の確認や食事を職員と一緒に召し上がって頂く事により水分摂取の量の変化や体調の変化に気づけるように心がけています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施しております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表により排泄間隔を把握したり、パット交換時にパットの状態を確認しパットが必要かの話し合いをカンファレンス時に議題の一つに上げるように取り組んでいます		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師と相談のうえ下剤の処方をする場合もあります。 水分摂取に関しては入居者様個別に好きな飲み物を提供するように日々取り組んでおります		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	2～3日毎に入浴にお誘いする様に心がけていますが、お誘いの際には無理強いする事のないようにお声掛けをする様に取り組んでおります		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝の時間や就寝の時間を強要する事がないように取り組んでおります。 また日中の時間帯で入居者様でお休みされたい時には自由にお休み頂けるように取り組んでおります		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに現時点での処方状況がわかる情報を管理している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のコミュニケーションの中でお手伝いの内容や外出先の選考、入居者様同士の相性等を考慮した席替え等の対応をしております		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様と外出の機会を設けたり、少人数での合同外出等、ホームの外に出れる環境作りの対応を日々心がけています		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持は契約者様との取り決めで個人個人で違います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望される時には自由に電話やお手紙の投函のお手伝いをしております		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	臭い、温度等の住環境と身体介助時にはプライバシーの配慮を常に保つように心がけております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の相性や視力、聴力等を考慮した座席の工夫を日々取組んでおります		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたもの、思い入れのあるものを居室に自由に配置してくださいとご家族様やご利用者様にはお伝えしております		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の環境を変化させる事は難しいので今ある環境内でどのような生活リハビリが可能なかは考えるように心がけています		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム サンライフ青葉

作成日

平成22年9月9日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
		集団での外出は多く実施しているが、個別外出の機会が少なくないので家族を巻き込んだ外出を行いたい。	家族様に外出の企画を立てて頂き実施する	家族に今回の主旨を説明し、予定を決めて必要に応じたスタッフを配置できる様にシフトを作成する	3ヶ月
		ホーム内企画がマンネリ化してきているので、1つの企画が流れ作業的になってきている。	個々の職員に企画を計画させ、新しい企画を実施させ、職員の意識の向上させる。	職員に施設という形にとらわれずに自由に発想出来る様にアドバイスをする。	3ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。